



集会形式の「県民大行動」で、マイクを握りあいさつする玉城デニー知事(右端)＝4日、沖縄県名護市

沖縄は絶対負けない

新基地阻止知事訴えに熱い拍手

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に反対する「オール沖縄会議」は4日、辺野古の米軍キャンプ・シュワブのゲート前で、コロナ禍のため長らく中止していた集会形式の「県民大行動」を行いました。玉城デニー知事も駆け付け、800人超の参加者は、新基地建設阻止の実現を、さらに強く誓い合いました。

県民大行動 ゲート前800人

ようとする設計変更を「不承認」にしたいと報告に伺った」と、デニー知事はあいさつを始めた。聴衆から盛大な拍手が起きました。デニー知事は「新しい基地を県民自身が提供する立場にはないことは明確だ。基地のない平和な島・沖縄をめざす道のりを、県民の皆さんとつくりたい」と意欲を述べ、来年1月16日告示(23日投票)の両市長選での必勝の決意を述べました。

負けてはいけません。私たちの意思は絶対にくじけるものではない」と訴えました。

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員など「オール沖縄」の衆議院議員、県内各地の「島ぐるみ会議」の代表者なども訴えました。名護市長選予定候補の岸本ようへい市議と、瑞慶覧チヨージン南城市長も、来年1月16日告示(23日投票)の両市長選での必勝の決意を述べました。